

加熱もできる真空ミキサー

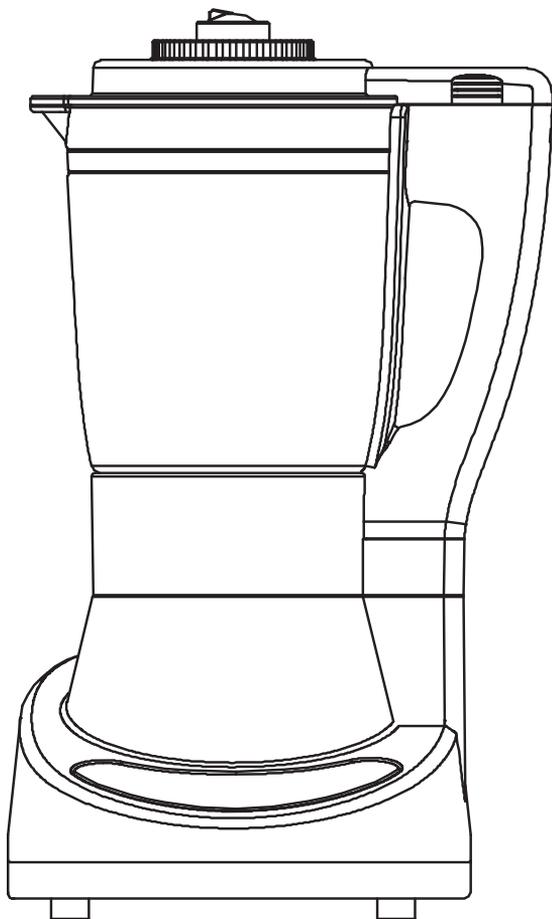
ら@くっく

## 取扱説明書（保証書付）

- この取扱説明書をよく読んでご使用ください。
- 取扱説明書及び保証書は大切に保管してください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

## 目次

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・2～5
- 各部名称・・・・・・・・・・6～7
  - 本体・付属品・・・・・・・・・・6
  - ふた・操作パネル・・・・・・・・・・7
- お使いになる前に・・・・・・・・・・8～9
  - 電源・エラー音・・・・・・・・・・8
  - ふたの取扱いかた・・・・・・・・・・8～9
- 使い方
  - スープモードメニュー・・・・・・・・10～11
    - スープモード（なめらか）・・10
    - スープモード（粗い）・・・・・11
  - 加熱メニュー・・・・・・・・・・12～15
    - ゆでる・・・・・・・・・・・・・12
    - 蒸す・・・・・・・・・・・・・13
    - 煮込み・・・・・・・・・・・・・14
    - 再加熱・・・・・・・・・・・・・15
  - ミキサーメニュー・・・・・・・・・・16～17
    - 連続ミキサー・・・・・・・・・・・・・16
    - スポットミキサー・・・・・・・・・・・・・17
  - 真空モードメニュー・・・・・・・・18～21
    - 真空ミキサー・・・・・・・・・・・・・18
    - 下ごしらえ・・・・・・・・・・・・・19
    - 真空保存・・・・・・・・・・・・・20～21
- お手入れの仕方・・・・・・・・・・22
- 操作メニュー一覧・・・・・・・・・・23
- エラーについて・・・・・・・・・・24
- 故障かな？と思った時は・・24～25
- 仕様・・・・・・・・・・・・・26
- 保証書・・・・・・・・・・・・・27



お買い上げいただき、ありがとうございます。  
本取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。  
本書はいつでも見られるところに保管してください。

- 保証書は本書に付属しています。必ずご記入ください。
- この製品の仕様は日本国内専用です。
- イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

Seubism

株式会社エスキュービズム通商

# 安全上のご注意

## 必ずお守りください

本製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる方や周囲の人の危険と物的損害を未然に防ぐために、重要な事項を記載しています。

本製品をお使いの前に、次の内容をよく理解して本文をお読みください。



### 警告

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。



### 注意

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。



禁止事項を示します。



ご確認いただきたい情報を示します。

## 警告



電源プラグ  
を抜く

長期間外出時や使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

- ・絶縁劣化による漏電火災や感電・ショートの原因になります。
- ・電源プラグを抜くときは、必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。電源コードを持って抜かないでください。
- ・水分のついた手で絶対に抜き差ししないでください。事故や感電の原因になります。  
⇒お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。



分解禁止

修理・分解・改造はしないでください

- ・感電の原因になります
- ・保証対象外となります  
⇒修理や点検は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください



禁止

同梱された付属品以外を製品と組み合わせて使用しないでください

- ・火災・感電・故障の原因になります  
⇒真空保存用カップ、真空保存用袋、バスケットは同梱品を使用してください


**警告**


禁止

**通電部や機械部、底部のスリットなどからピンや針金などの異物を入れないでください**

- ・事故や火災、感電やショートの原因になります。  
⇒ドライバーやクリップなどを差し込むのはおやめください。



禁止

**本体（下本体：モーター部分、ハンドル部分）に水をかけないでください  
水のかかる恐れのある場所では使用しないでください**

- ・漏電によって感電やショートなどの原因になります。



禁止

**交流（AC）100V 以外では使用しないでください**

- ・異常な発熱や動作により事故や火災の原因になります。



禁止

**電源コードを変形、破損、加工、無理に曲げる、強く引っ張る、束ねて使用するなどして使用しないでください**

- ・重いものをコードに載せたり、コードを挟み込んだまま使用するとコードが破損し、火災、事故、感電などの原因になります。



禁止

**ミキサー動作中にフタ・キャップを開けないでください**

- ・フタ開閉センサーがありますので、フタを開けると動作が停まるようになっていますが、万が一ミキサー動作が停止しない場合にはケガをする場合がありますので、ミキサー動作中には絶対にフタを開けないでください。
- ・ミキサー動作中にはキャップを開けないでください。手や菜箸などを入れないでください。



禁止

**ミキサーを使用する場合には、硬い物を入れないでください**

- ・ミキサーの動作で碎けないような硬い物を入れると、容器や粉碎用のブレードが壊れてしまうことがあります。本製品が壊れても動作を続けてしまうと事故やケガなどの原因になります。



禁止

**加熱中にフタ・キャップを開けたり、中に手や菜箸を入れないでください**

- ・スープなどの内容物は煮ることで約 100℃になります。  
フタやキャップなどを不用意に開けると内容物が飛散し、やけどやケガの原因になりますのでご注意ください。
- ・加熱中は本体も熱くなりますので注意してください。



禁止

**ブレードには直接手で触れないでください**

- ・ケガをするおそれがあります。



禁止

**ガラスのお取扱にはご注意ください**

- ・破損しますとケガの原因となります。

## 警告



確認

**電源プラグの周辺はきれいにしてお使いください**

- ・火災の原因になります。  
⇒電源プラグとその周り・電源コンセントにほこりなどが付いていたら掃除してください。



禁止

**本製品が水にぬれることは避けてください**

**ぬれた手で触れないでください**

- ・感電の原因になります。  
⇒雨天時、降雪時、水辺での使用を避けてください。  
⇒飲み物などにお気をつけください。  
⇒本体部分、ボトルの外側（ハンドル部など）のお手入れはよく絞った布巾などで軽くふき、液体や霧状の洗浄剤は使用しないでください。  
⇒食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。



禁止

**雷が発生しているときは、本体・電源プラグに触れないでください**

- ・感電の原因になります。



禁止

**誤った使い方、調理以外の使い方をしないでください**

- ・故障や事故の原因になります。



確認

**内容物をボトルに入れた状態で本製品にセットするとき、水などをボトルに注ぐとき、洗浄時、お手入れの際には必ず電源を抜いてください**

- ・火災・故障の原因になります。



確認

**調理後、中身が入ったままボトルを本体から取り外すときには、やけどやケガに注意して取り外してください**

- ・故障、やけどやケガなど事故の原因になります。



確認

**お手入れはしっかりと行ってください**

- ・不衛生なまま使用すると体調を崩すなど健康を害する場合があります。



確認

**持ち運ぶときは次のことを守ってください**

- ⇒本体動作中に移動させないでください。
- ⇒ボトル内に内容物がある場合にはこぼさないように注意してください。



確認

**子供だけで使用しないでください**

**乳幼児の手の届くところで使用しないでください**

- ・やけどやケガ、感電などの事故や故障の原因になります。

## 注意



確認

高温のものを入れて真空モードを作動させないでください。  
⇒圧力センサーや真空ポンプの故障原因になります。



確認

真空保存用カップで保存するときは、必ず冷蔵庫に立てて入れて保存してください。  
・殺菌作用はありませんので、保存には十分注意してください。



禁止

設置場所が水平でない・振動の多い場所など不安定な場所に置かないでください  
・本体が落下したり、誤作動を起こすなど事故や故障の原因になります。



禁止

次の場所では使用しないでください  
・ガスレンジなどの炎の近く。  
・引火性ガスのある場所。  
・雨や水がかかる場所。  
・周囲が囲まれた場所（棚の中など）  
・本製品の熱（蒸気）などで変形してしまう恐れのある物の近く。  
家具やプラスチック製品は変形や破損してしまう場合があります。



禁止

出入り口・通路等で使用しないでください  
・けが・損傷・故障の原因になります



禁止

上に物を置かないでください  
・故障の原因になります



確認

初回動作時にはモーターから煙が出る事がありますが、これは製品組立時に必要な油が摩擦熱で煙霧状になったものです。本製品に問題はありません。  
ただし初回動作時以外でモーター等から煙が出た場合には故障している可能性がありますので、本製品の使用を止めて弊社お客様相談窓口までご相談ください。



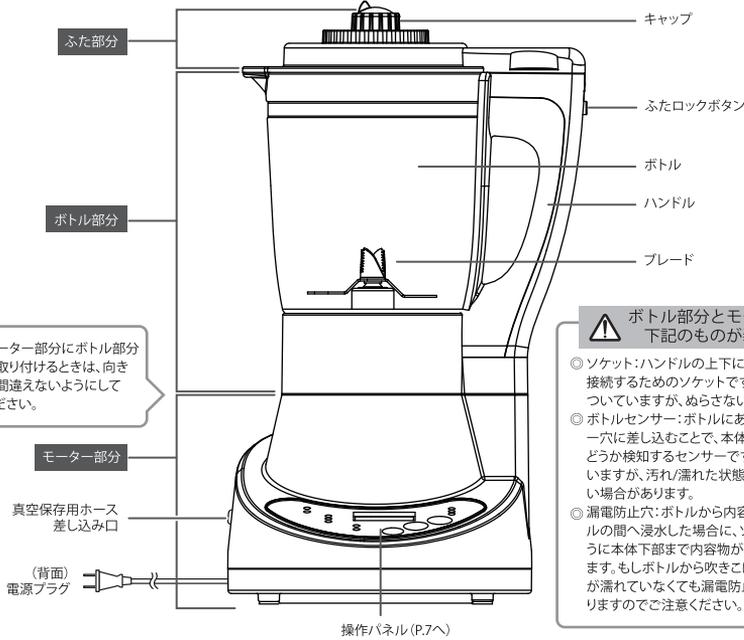
確認

本製品の連続 / 断続使用時間は約30分以内を目安に使用してください。  
手動ミキサーの連続使用時間は約1分以内を目安に使用してください。  
1時間以内に30分以上使用する、またはミキサー（スポット）を連続1分以上使用する場合は、本製品のモーター等が加熱していることが考えられますので、一度使用を止め、冷ましてから再度使用してください。

# 各部名称

## 本体

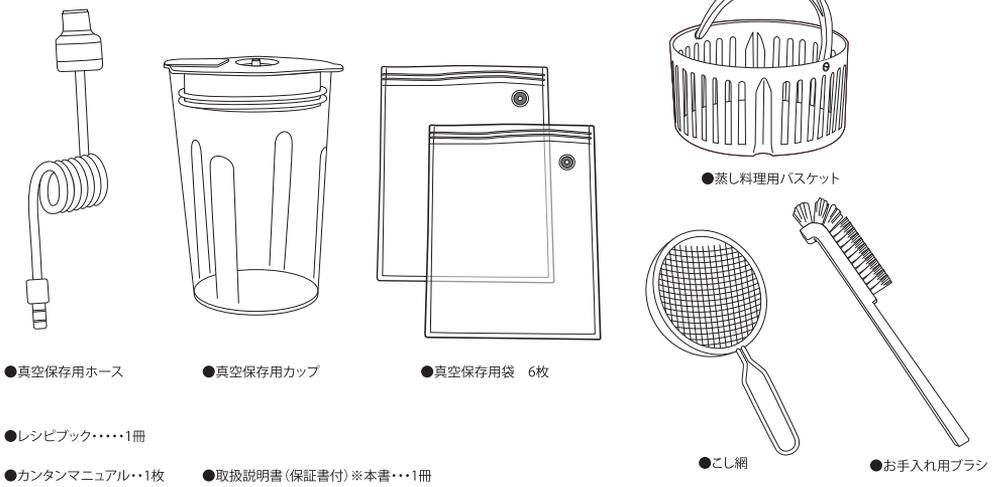
本体は3つの部分に分かれます。



モーター部分にボトル部分を取り付けるときは、向きを間違えないようにしてください。

- ⚠ ボトル部分とモーター部分の間には、下記のものが入っています。**
- ◎ ソケット：ハンドルの上下にあるセンサーとモーター部を接続するためのソケットです。ソケットには防水カバーがついていますが、ぬらさないように使用してください。
  - ◎ ボトルセンサー：ボトルにある突起を本体側にあるセンサー穴に差し込むことで、本体にボトルが設置されているかどうか検知するセンサーです。ソケット同様に防水されていますが、汚れ/濡れた状態で使用すると正常に機能しない場合があります。
  - ◎ 漏電防止穴：ボトルから内容物が吹きこぼれて本体とボトルの間へ浸水した場合に、ソケットなどから漏電しないように本体下部まで内容物が流れ出るように穴が空いています。もしボトルから吹きこぼれた場合には、本体の外側が濡れていなくても漏電防止穴から下部が汚れることがありますのでご注意ください。

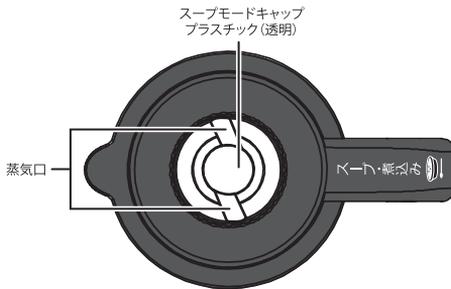
## 付属品



- 真空保存用ホース
- 真空保存用カップ
- 真空保存用袋 6枚
- レシピブック・・・1冊
- 取扱説明書(保証書付) ※本書・・・1冊
- 蒸し料理用バスケット
- こし網
- お手入れ用ブラシ

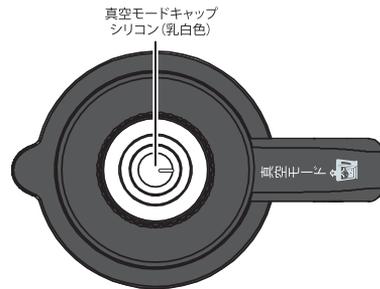
## ふた

機能別に2種類のふたがあります。 ※対応メニュー以外ではエラーとなり、作動しません。



(A) スープ・煮込み用ふた

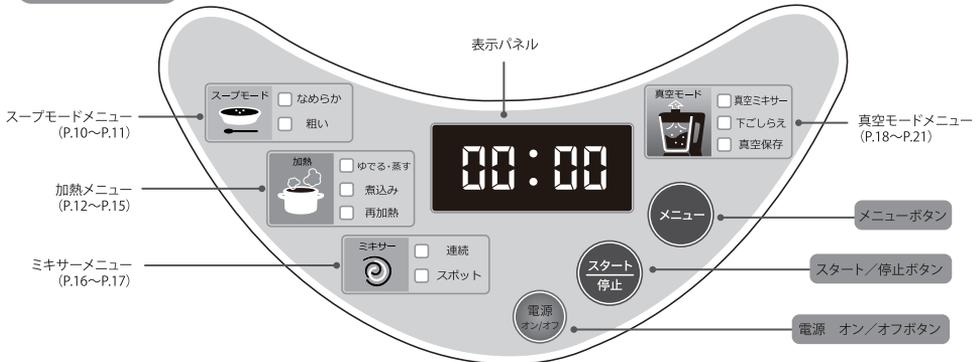
対応メニュー  
 ・スープモード  
 ・加熱  
 ・ミキサー



(B) 真空モード用ふた

対応メニュー  
 ・真空モード  
 ・ミキサー

## 操作パネル



	操作ボタン	動作内容																				
	電源オン/オフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源のオン、オフをおこないます。電源オン後、10秒間操作しない場合、電源オフになります。</li> <li>動作の一時停止中に電源ボタンを押すとリセットされます。</li> </ul>																				
	メニュー	<p>メニューボタンを押すことに、モードが変わります。</p> <table border="0"> <tr> <td>↓ P-01</td> <td>スープモード (なめらか)</td> <td>↓ P-06</td> <td>ミキサー (連続)</td> </tr> <tr> <td>↓ P-02</td> <td>スープモード (粗い)</td> <td>↓ P-07</td> <td>ミキサー (スポット)</td> </tr> <tr> <td>↓ P-03</td> <td>加熱 (ゆでる・蒸す)</td> <td>↓ P-08</td> <td>真空モード (真空ミキサー)</td> </tr> <tr> <td>↓ P-04</td> <td>加熱 (煮込み)</td> <td>↓ P-09</td> <td>真空モード (下ごしらえ)</td> </tr> <tr> <td>↓ P-05</td> <td>加熱 (再加熱)</td> <td>↓ P-10</td> <td>真空モード (真空保存)</td> </tr> </table>	↓ P-01	スープモード (なめらか)	↓ P-06	ミキサー (連続)	↓ P-02	スープモード (粗い)	↓ P-07	ミキサー (スポット)	↓ P-03	加熱 (ゆでる・蒸す)	↓ P-08	真空モード (真空ミキサー)	↓ P-04	加熱 (煮込み)	↓ P-09	真空モード (下ごしらえ)	↓ P-05	加熱 (再加熱)	↓ P-10	真空モード (真空保存)
↓ P-01	スープモード (なめらか)	↓ P-06	ミキサー (連続)																			
↓ P-02	スープモード (粗い)	↓ P-07	ミキサー (スポット)																			
↓ P-03	加熱 (ゆでる・蒸す)	↓ P-08	真空モード (真空ミキサー)																			
↓ P-04	加熱 (煮込み)	↓ P-09	真空モード (下ごしらえ)																			
↓ P-05	加熱 (再加熱)	↓ P-10	真空モード (真空保存)																			
	スタート/停止	メニューを選択後、スタート/停止ボタンを押すと作動します。もう一度押すと一時停止し、再度押すと動作が再開します。																				

# お使いになる前に

## ■初めてお使いになるときは ※しばらくご使用になっていなかった場合も含む

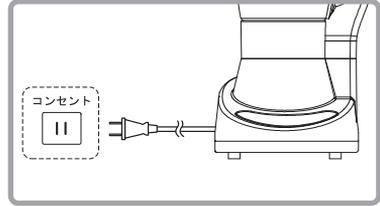
本体モーター部以外の、ボトル、ふたなどの食品が触れる部分のお手入れをあらかじめおこなってください。  
お手入れについて ⇒ P.22

## ■電源の入れかた

- 1: 電源プラグをコンセントに差しこんでください。
- 2: ボトルをモーター部にしっかりとセットしてください。
- 3: ふたをセットしてください。「ピッ」という音がして電源がオンになります。

電源オン時には表示パネルのLEDライトが点灯します。  
各操作時には、それぞれのメニューのLEDライトが点灯します。  
電源ボタンを再度押すと電源がオフになり、LEDボタンが消灯します。  
※操作パネルについてはP.7をご覧ください

※[スポットミキサーメニュー]については、[スタート/停止]ボタンを押している間だけ動作します。  
※各操作を行うためには、ボトル部分がモーター部分に正常に接続されていることが必要です。  
操作できない場合には、各部を点検していただき異常な箇所があれば改善してください。  
※初回動作時にはモーターから煙が出る事がありますが、これは製品組立時に必要な油が摩擦熱で煙霧状になったものです。本製品に問題はありません。



**注意** 安全のため、ふたをセットしないと電源が入らないようになっています。

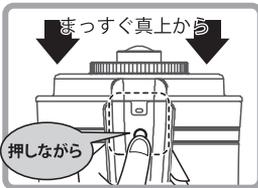
## ■ブザー音について

以下のような場合には、本体からブザーが鳴ります。

- ・各モードが終了したとき。 ⇒ ブザー音は数秒で止まります。
- ・フタが正しくセットされたとき。 ⇒ ブザー音は一回鳴ります。
- ・スूपモード及び真空ミキサーが動作中、ミキサーが作動する前にお知らせブザーが鳴ります。 ⇒ ブザー音は4回鳴ったあと、ミキサーが回り始めます。
- ・エラーが発生したとき。 ⇒ 表示パネルのエラー表示を確認し、エラーを解消してください。(P.24参照)

## ■ふたの取り扱いかた

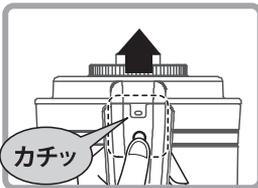
### ●取り付けるとき



ふたは注ぎ口を合わせてから取っ手をセットします。ハンドルの【ふたロックボタン】を押しながら、真上からしっかりとはめこんでください。  
※ふたが斜めになっていたり、しっかり取り付けられていない場合は電源が入らず、動作いたしません。  
※ふたがボトルに入りにくい時は、パッキンを水で濡らしてください。

**注意** 安全のため、ふたをセットしないと電源が入らないようになっています。必ずふたをセットしてから動作させてください。

### ●取りはずすとき



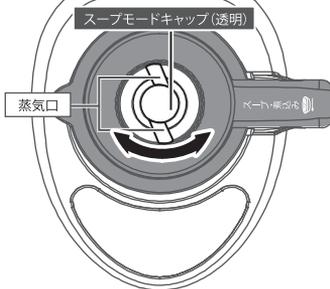
ハンドルの【ふたロックボタン】を押しながら上に持ち上げてください。  
※(B) 真空モード用ふたを取り外すときは、シリコンキャップを軽く持ち上げ、空気を入れてから取り外してください。⇒P.18 参照

**注意** ・取り付けや取り外しの際には「異物を挟み込む」「熱い場合などに無理な力を加える」などをすると破損しますので注意してください。  
・上部にある上フタ（プラスチックキャップまたはシリコンキャップ）は、必要な場合に開けるようにして、通常は取り付けたまま使用してください。上フタを取り外して作動させると、内容物が吹きこぼれややけどなどのおそれがあります。  
・本体が熱い場合にフタの開閉を行う時はやけどなどをしないように注意してください。  
・何も挟まこまないように注意してフタを閉じます。

●キャップの取り付け

本体動作中は、キャップを開けないようにしてください。お手入れのときなど、取り外しが必要な場合以外は通常装着したままで使用ください。

(A) スープ・煮込み用ふた



スープモードキャップは、上から見て蒸気口が上図の位置に来るようにセットしてください。

⚠️ スープモードキャップを装着しないで動作させると沸とうした時やミキサーで攪拌したときに内容物がふきこぼれる恐れがあります。

 (A) のふたを使うモード  
P.10～P.17

(B) 真空モード用ふた

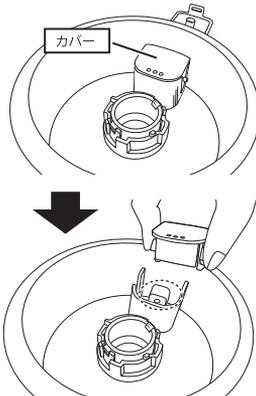


真空モードキャップは上から見て上図の位置に来るようにしっかりとセットしてください。

⚠️ 真空モードキャップを装着しないで動作させると、密閉されていないため、真空状態になりません。

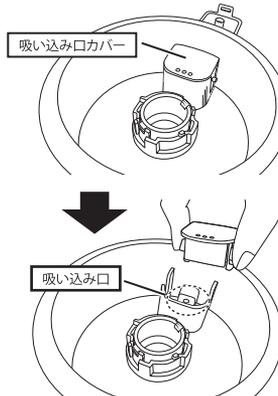
 (B) のふたを使うモード  
P.16～P.21

(A) スープ・煮込み用ふた・内部



使用後はカバーを外して食材カスがないか確認し、汚れていたらお手入れをしてください。

(B) 真空モード用ふた・内部



使用後は吸い込み口カバーを外して吸い込み口に食材カスが詰まっているか確認し、お手入れをしてください。

⚠️ 真空モードふた内部の吸い込み口が食材カスなどで詰まっていると、真空状態になりません。

# スープモードメニュー

## ■ スープモード（なめらか）

使用可能内容量  
約300ml～約800ml

材料をカットしながら加熱するモードです。

スープモード（粗い）よりもなめらかな仕上がりになります。

### 注意

硬いもの、殻や種のあるものを粉砕するとブレードの刃を痛め、故障や破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

# 1

調理する食べ物や液体をボトルに入れてください。

※フタをしっかりと閉じてください。

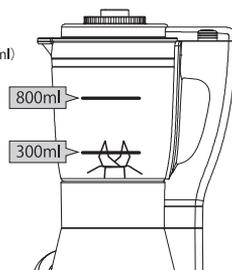
※ボトルが熱い場合には取り扱いにご注意ください。

※内容量についてはボトルに記載されているスープの容量（最小約300ml、最大約800ml）を守って入れてください。

※大きな物は2cm角程度に切り刻んでから入れてください。

※硬いもの、殻や種のあるものは粉砕できません。

※粉砕することで熱を発生したり、変質するものがありますのでご注意ください。



# 2

ボトルを本体にセットしてください。

※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。

※内容物を本体にこぼさないように注意してください。

※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

# 3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを1回押すと、【スープモード（なめらか）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-01】と表示されます。

# 4



スタート/停止ボタンを押すと、調理がスタートします。

※ブレードによる攪拌、加熱をくり返します。

※調理中にはキャップを開けないでください。

キャップを開けてもスープモードは続行しています。キャップが開いた状態で攪拌がはじまると内容物が飛び出してしまうのでご注意ください。

※調理中にはキャップの蒸気口から蒸気が吹き出すことがありますので、顔や手などを近づけないでください。

※吹きこぼれる場合には電源ボタンを押して停止させてください。

この場合にはスープモードはリセットされますのでご了承ください。

# 5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

※動作終了直後にフタ・キャップを開ける場合には、やけどに注意してください。

※油脂や調味料（糖類など）を調理後に加えるときは、電源オフの状態でおこなってください。

・スープモード終了後に本製品で再度加熱する場合は、「再加熱」メニューを使用してください。⇒P.15  
スープモードや他の加熱メニューを使用すると、焦げ付くおそれがあります。

・加熱とミキサーをくり返すことで内容物が対流しにくくなり、煮込みが不十分になることがあります。  
その場合には電源ボタンを押してスープモードを終了させてから、菜箸などでかき混ぜてください。スープモードを続けながらかき混ぜると、いきなりブレードが回転するなどして危険ですとおやめください。

・根菜など硬いものは、スープボタンを使用する前に「加熱（ゆで・蒸す）」メニューを使用してからあらかじめ加熱してから使用してください。⇒P.12

・乾燥したものを粉砕するときに、内部に水分が残っていると粉砕したものが固まってしまうことがあります。  
この固形物が本製品を破損させる可能性もありますのでご注意ください。

粉砕することで本製品にキズを付いたり張り付くような物は使用しないでください。

### 豆乳を作る場合

豆乳を作る場合は、スープモード（なめらか）で大豆と水分を攪拌したあと、付属のこし網を使用して豆乳とおからに分けます。豆乳は粗熱を取って、冷蔵庫で保存してください。  
※おからはふきん等で水を絞り、冷凍保存可能です。



## ■ スープモード（粗い）

使用可能内容量  
約300ml～約800ml

材料をカットしながら加熱するモードです。

スープモード（なめらか）よりも粗めの仕上がりになります。

### 注意

硬いもの、殻や種のあるものを粉碎するとブレードの刃を痛め、故障や破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

1

調理する食べ物や液体をカップに入れてください。

※フタをしっかりと閉じてください。

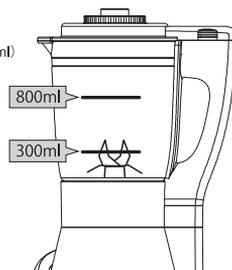
※ボトルが熱い場合には取り扱いにご注意ください。

※内容量についてはボトルに記載されているスープの容量（最小約300ml、最大約800ml）を守って入れてください。

※大きな物は2cm程度に切り刻んでから入れてください。

※硬いもの、殻や種のあるものは粉碎できません。

※粉碎することで熱を発生したり、変質するものがありますのでご注意ください。



2

ボトルを本体にセットしてください。

※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。

※内容物を本体にごぼさないように注意してください。

※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを2回押すと、【スープモード（粗い）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-02】と表示されます。

4



スタート/停止ボタンを押すと、自動で調理がスタートします。

※ブレードによる攪拌、加熱をくり返します。

※ミキサーが作動する前には「ビビビビ」とお知らせブザーが鳴ります。

※調理中にはキャップを開けないでください。

キャップを開けてもスープモードは続行しています。キャップが開いた状態で攪拌がはじまると内容物が飛び出しますのでご注意ください。

※調理中にはキャップの蒸気口から蒸気が吹き出すことがありますので、顔や手などを近づけないでください。

※吹きこぼれる場合には電源ボタンを押して停止させてください。

この場合にはスープモードはリセットされますのでご了承ください。

5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

※動作終了直後にフタ・上フタを開ける場合には、やけどに注意してください。

※油脂や調味料（糖類など）を調理後に加えるときは、電源オフの状態でおこなってください。

・スープモード終了後に本製品で再度加熱する場合は、「再加熱」メニューを使用してください。⇒P.15  
スープモードや他の加熱メニューを使用すると、焦げ付くおそれがあります。

・加熱とミキサーをくり返すことで内容物が対流しにくくなり、煮込みが不十分になることがあります。  
その場合には電源ボタンを押してスープモードを終了させてから、菜箸などでかき混ぜてください。  
スープモードを続けながらかき混ぜると、いきなりブレードが回転するなどして危険ですのでおやめください。

・根菜など硬いものは、スープボタンを使用する前に「加熱（ゆで・蒸す）」メニューを使用してあらかじめ加熱してから使用してください。⇒P.12

・乾燥したものを粉碎するときに、内部に水分が残っていると粉碎したものが固まってしまうことがあります。  
この固形物が本製品を破損させる可能性もありますのでご注意ください。  
粉碎することで本製品にキズを付けたリ張り付くような物は使用しないでください。

# 加熱メニュー

## ■ 加熱（ゆでる・蒸す）・・・ゆでる

使用可能内容量  
約300ml～約800ml

ブレードが回転せず、中身を加熱するモードです。

■ ゆでる料理に適した物 糖分の少ないもの。加熱しても焦げ付きにくいもの。

### 注意

糖分が多いものや加熱すると焦げ付きやすいものを煮ると、底面にあるヒーターなどにコゲがついてしまい、取り除くことができなくなる可能性がありますのでご注意ください。  
牛乳は焦げ付きの原因になりますので入れないでください。

# 1

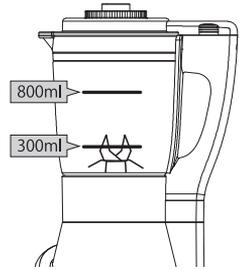
ボトル内に水を入れます。

※ボトルに記載されている範囲で水を入れてください。  
ゆでる：最小約300ml～最大約800ml

# 2

ゆでる材料を入れます。

※固形物以外に、水やダシ汁などの液体を必ず一緒に入れてください。  
故障・発火の原因となります。  
※右図の矢印部分（ゆでる：最小約300ml～最大約800ml）まで材料（固体・液体を合わせた量）を入れることができます。  
これ以上入れると吹きこぼれたりしますのでご注意ください。  
※ふたとキャップをしっかり閉じてください。フタをしっかりと閉じないとセンサーが働いて作動しません。キャップが閉まっていなくても動作しますのでご注意ください。  
※トモロコシやにんじんなど高さのある野菜をゆでる場合は、切り分けてからゆでてください。



# 3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを3回押すと、【加熱（ゆでる・蒸す）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-03】と表示されます。

# 4



スタート/停止ボタンを押すと、自動で調理がスタートします。

沸騰してから約10分間加熱します。

※途中で止めた場合はスタート/停止ボタンを押してください。もう一度押すと加熱再開します。  
※電源オン/オフボタンを押すとリセットされます。

# 5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

※動作終了直後にフタ・キャップを開ける場合には、やけどに注意してください。  
※さらに加熱する場合には、3～4の工程を再度おこなってください。  
※取り出す場合には、ボトルやフタ、バスケットがとても熱くなっています。  
蒸気もふきだしている場合がありますのでやけどに注意してください。

- ・本体にボトルをセットした状態でボトル内に水を入れてください。
- ・動作中にキャップをあげないでください。
- ・空焚きはしないでください。
- ・糖分が多いものや油分が多いものをゆでると焦げ付き場合がありますのでご注意ください。
- ・食材について：ゆでることで溶解してしまうものは使用しないでください。
- ・ゆでる時間は、ボトル内の水が沸騰してから約10分間です。
- ・ゆでることで異常に熱くなる物は使用しないでください。
- ・動作終了直後にフタ・キャップを開ける場合には、やけどに注意してください。
- ・お湯だけが入っている状態でミキサーメニューを使用しないでください。

### ゆで卵を作る場合

ゆで卵を作る場合は、付属のバスケットに卵を入れて加熱してください。バスケットを使用しない場合、ブレードに当たって卵が割れるおそれがあります。  
水は卵が全部浸るくらいに入れてください。  
※使用可能内容量を守ってください。  
※バスケットはボトルの中にセットしてください。（P.13参照）



## ■ 加熱（ゆでる・蒸す）・・・蒸す

使用可能内容量  
約300ml

ブレードが回転せず、中身を加熱するモードです。

■ 蒸す料理に適した物 加熱しても溶解しないもの。

## 注意

蒸すと溶解してしまうものや、糖分が下の水へ滴るもの、油分の多いものなどを調理すると、底面にあるヒーターなどにコゲがついてしまい取り除くことができなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

1

カップ内に水を入れます。

※ボトルに記載されている範囲で水を入れてください。

蒸す：最小約300ml

※入れる水は、ヒーターで熱することで焦げない物を入れてください。

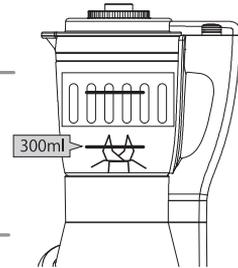
2

バスケットを右図のようにセットします。

※蒸し料理の場合はバスケットはカップ内の水に接触させないでください。

蒸す材料をバスケットの中に入れます。

※トウモロコシやにんじんなど高さのある野菜をゆでる場合は、切り分けてから蒸してください。



3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを3回押すと、【加熱（ゆでる・蒸す）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-03】と表示されます。

4



スタート/停止ボタンを押すと、自動で調理がスタートします。

沸とうしてから約10分間加熱します。

※途中で止めたい場合にはスタート/停止ボタンを押してください。もう一度押すと加熱再開します。

※電源オン/オフボタンを押すとリセットされます。

5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

※動作終了直後にフタ・キャップを開ける場合には、やけどに注意してください。

※さらに加熱する場合には、3~4の工程を再度おこなってください。

・取り出す場合には、ボトルやフタ、バスケットがとても熱くなっています。

蒸気もふきだしている場合がありますのでやけどに注意してください。

- ・本体にボトルをセットした状態でボトル内に水を入れてください。
- ・動作中にキャップをあげないでください。
- ・空焚きはしないでください。
- ・糖分が多いものや油分が多いものをゆでると焦げ付く場合がありますのでご注意ください。
- ・食材について：蒸すことで溶解してしまうものは使用しないでください。
- ・蒸す時間は、ボトル内の水が沸騰してから約10分間です。
- ・蒸すことで異常に熱くなる物は使用しないでください。

蒸し料理をする場合は、必ず付属のバスケットをセットしてください。

付属のバスケット以外のものを使わないでください。

動作終了直後にフタ・キャップを開ける場合には、やけどに注意してください。

## ■ 加熱（煮込み）

使用可能内容量  
約300ml～約800ml

ブレードが回転せず、中身を加熱するモードです。

■ 煮込み料理に適した物 糖分の少ないもの。加熱しても焦げ付きにくいもの。

### 注意

糖分が多いものや加熱すると焦げ付くものを煮ると、底面にあるヒーターなどにコゲがついてしまい、取り除くことができなくなる可能性がありますのでご注意ください。  
牛乳は焦げ付きの原因になりますので入れないでください。

1

煮込む材料と水やだし汁を入れます。

※固形物以外に、水やだし汁などの液体を必ず一緒にに入れてください。

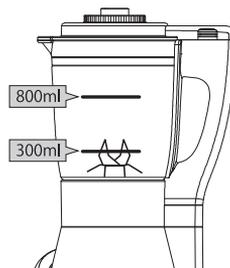
故障・発火の原因となります。

※右図の矢印部分（煮：最小約300ml～最大約800ml）まで材料（固体・液体を合わせた量）を入れることができます。

これ以上入れると吹きこぼれたりしますのでご注意ください。

※上フタとキャップをしっかり閉じてください。フタをしっかり閉じないとセンサーが働いて作動しません。キャップが開まっていなくても動作しますのでご注意ください。

※トウモロコシやにんじんなど高さのある野菜をゆてる場合は、切り分けてから加熱してください。



2

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを4回押すと、【加熱（煮込み）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-04】と表示されます。

3



スタート/停止ボタンを押すと、自動で調理がスタートします。

沸とう後は80℃～85℃を保ちながら約20分間加熱します。

※途中で止めたい場合にはスタート/停止ボタンを押してください。もう一度押すと加熱再開します。

※電源オン/オフボタンを押すとリセットされます。

4

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

※動作終了直後にフタ・キャップを開ける場合には、やけどに注意してください。

・取り出す場合には、ボトルやフタがとも熱くなっています。

蒸気も吹き出す場合がありますのでやけどに注意してください。

- ・空焚きはしないでください。
  - ・糖分が多いものや油分が多いものをゆると焦げ付く場合がありますのでご注意ください。
  - ・牛乳を使用する料理を作る場合には、本製品で加熱・調理が終わったあとに加えてください。
  - ・料理の調味料として砂糖を加える場合には、加熱が終わってから加えてください。
  - ・内容物が液状でない（ゲル状、水分の少ない液状）など焦げ付く可能性のあるものは使用しないでください。
  - ・内容物が液状でない（ゲル状、水分の少ない液状）場合には、内部で対流が起こらず、十分に沸とうさせる事ができない場合がありますので、その場合には一度電源を切り、フタを開け、混ぜるなどしてください。
  - ・煮ることでふきこぼれてしまうもの（とろみのある液体など）については、スタート/停止ボタンを押してモードを停止し、ふきこぼれないようにしてください。
- この場合、約20分間の加熱時間はリセットされますのでご注意ください。

## ■ 加熱（再加熱）

使用可能内容量  
約300ml～約800ml

ブレードで粉碎しながら70℃まで加熱 / あたためをするモードです。

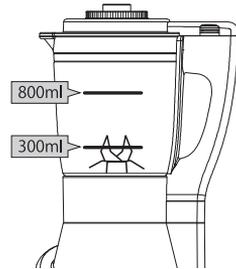
## 注意

硬いもの、殻や種のあるものを粉碎するとブレードの刃を痛め、故障や破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

1

調理する食べ物や液体をボトルに入れてください。

- ※フタをしっかり閉じてください。
- ※ボトルが熱い場合には取り扱いはご注意ください。
- ※内容量についてはボトルに記載されている容量（最小約300ml、最大約800ml）を守って入れてください。
- ※大きな物は2cm角程度に切り刻んでから入れてください。
- ※硬いもの、殻や種のあるものは粉碎できません。
- ※粉碎することで熱を発生したり、変質するものがありますのでご注意ください。



2

ボトルを本体にセットしてください。

- ※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。
- ※内容物を本体にこぼさないように注意してください。
- ※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを5回押すと、【加熱（再加熱）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-05】と表示されます。

4



スタート/停止ボタンを押すと、70℃まで加熱をおこないます。

- ※ブレードによる攪拌、加熱をくり返します。
- ※あたため中にはキャップを開けないでください。
- ※キャップを開けても加熱（再加熱）モードは続行しています。キャップが開いた状態で攪拌がはじまると内容物が飛び出してしまうのでご注意ください。
- ※吹きこぼれる場合にはスタート/停止ボタンと電源オン/オフボタンを押して停止させてください。

5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

- ※内容物がボトル内の温度センサー部分で約70℃になると終了ブザーが鳴ります。
- ※動作終了直後にフタ・キャップを開ける場合には、やけどに注意してください。
- ※再度加熱する場合には、3～4の工程を再度おこなってください。
- ・取り出す場合には、ボトルやフタ、バスケットがとても熱くなっています。
- 蒸気もふきだしている場合がありますのでやけどに注意してください。

- ・70℃以上のものが入っている場合には機能しません。
- ・再加熱メニューでは、ブレードが一定の間隔で動作（ミキシング）します。
- ・加熱とミキサーをくり返すことで内容物が対流しなくなり、あたためが不十分になることがあります。その場合には電源オン/オフボタンを押して「加熱（再加熱）」メニューを終了させてからかき混ぜてください。その後再度「加熱（再加熱）」メニューを開始してください。
- 「加熱（再加熱）」メニューを続けながらかき混ぜると、いきなりブレードが回転するなどして危険ですのでおやめください。
- ・攪拌や熱による対流が起こりにくい内容物では、底面にあるヒーター周辺や温度センサー部分だけあたためられてしまい、全体が十分にあたたまらないことがあります。その場合は電源ボタン押しで運転を停止してからかき混ぜてください。
- ・粉碎することで本製品にキズを付けたり張り付くような物は使用しないでください。

# ミキサーモードメニュー

## ■ ミキサー（連続）

使用可能内容量  
約300ml～約800ml

約1分間ブレードが回転するモードです。

■ 粉碎できるもの 野菜や果物、煮干、乾燥昆布などある程度の固さのもの

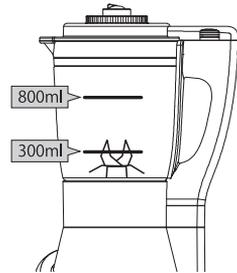
### 注意

硬いもの、殻や種のあるものを粉碎するとブレードの刃を痛め、故障や破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

# 1

調理する食べ物や液体をボトルに入れてください。

- ※フタをしっかり閉じてください。
- ※ボトルが熱い場合には取り扱いにご注意ください。
- ※内容量についてはボトルに記載されている容量（最小約300ml、最大約800ml）を守って入れてください。
- ※大きな物は2cm角程度に切り刻んでから入れてください。
- ※硬いもの、殻や種のあるものは粉碎できません。
- ※粉碎することで熱を発生したり、変質するものがありますのでご注意ください。



# 2

ボトルを本体にセットしてください。

- ※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。
- ※内容物を本体にごばさないように注意してください。
- ※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

# 3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを6回押すと、【ミキサー（連続）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-06】と表示されます。

# 4



スタート/停止ボタンを押すと、自動でミキサーがスタートします。

約1分間 ミキサーが作動します。

- ※途中で止めたい場合にはスタート/停止ボタンを押してください。もう一度押すと加熱再開します。
- ※電源オン/オフボタンを押すとリセットされます。

# 5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

- ※動作中はキャップを必ず取り付けてください。
- ※ミキサー自動ボタンを押すと、約1分間ミキサーが動作します。
- ※電源オン/オフボタンを押すと停まります。
- ※使用中はフタやハンドルをしっかりセットして、ボトルが外れないようにして使用してください。
- ※粉碎することで異常な振動などを感じた場合はすみやかに使用をやめてください。
- ※粉碎し過ぎるとペースト状（液状）になったり変質したりする場合があります。

- ・より細かく粉碎したいときは、停止したあとに中身を混ぜてから再度、ミキサーを繰り返してください。
- ・乾燥したものを粉碎するときに、内部に水分が残っていると粉碎したものが固まってしまうことがあります。この固形物が本製品を破損させる可能性もありますのでご注意ください。
- ・粉碎することで本製品にキズを付けたり張り付くような物は使用しないでください。
- ・空回りする（動作音はするが、中身が攪拌されていない等）場合は、中身がブレードに触れずに動作している可能性があります。電源を切ってから、菜箸などで中身を攪拌したあとで再度動作させてください。
- ※必ず電源を切り、ブレードが回転していない状態で攪拌してください。
- ・カラ回しはお止めください。

## ■ ミキサー（スポット）

使用可能内容量  
300ml～800ml

ボタンを押している間だけブレードが回転するモードです。

■ 粉碎できるもの 野菜や果物、煮干、乾燥昆布などある程度の固さのもの

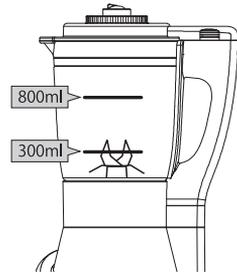
### 注意

硬いもの、殻や種のあるものを粉碎するとブレードの刃を痛め、故障や破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

# 1

調理する食べ物や液体をボトルに入れてください。

- ※フタをしっかりと閉じてください。
- ※ボトルが熱い場合には取り扱いにご注意ください。
- ※内容量についてはボトルに記載されているスープの容量（最小 300ml, 最大 800ml）を守って入れてください。
- ※大きな物は2cm角程度に切り刻んでから入れてください。
- ※硬いもの、殻や種のあるものは粉碎できません。
- ※粉碎することで熱を発生したり、変質するものがありますのでご注意ください。



# 2

ボトルを本体にセットしてください。

- ※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。
- ※内容物を本体にこぼさないように注意してください。
- ※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

# 3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを7回押しすと、【ミキサー（スポット）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-07】と表示されます。

# 4



スタート/停止ボタンを押すと、押している間だけミキサーが作動します。

ボタンを押し続けた場合15秒でミキサーが停止します。

- ※動作中はキャップを必ず取り付けてください。
- ※ボタンを押している間だけミキサーが動作します。
- ※ボタンを離すと停まります。
- ※使用中はフタやハンドルを押さえて、ボトルが外れないように使用してください。
- ※粉碎することで異常な振動などを感じた場合はすみやかに使用をやめてください。
- ※粉碎しすぎるとペースト状（液状）になったり変質したりする場合があります。

- より細かく粉碎したいときは、停止したあとに中身を混ぜてから再度「ミキサー（スポット）」メニューをご使用ください。
- 乾燥したものを粉碎するときに、内部に水分が残っていると粉碎したものが固まってしまうことがあります。この固形物が本製品を破損させる可能性もありますのでご注意ください。
- 粉碎することで本製品にキズを付けたり張り付くような物は使用しないでください。
- 空回りする（動作音はするが、中身が攪拌されていない等）場合は、中身がブレードに触れずに動作している可能性があります。電源を切ってから、菜箸などで中身を攪拌したあとで再度動作させてください。  
※必ず電源を切り、ブレードが回転していない状態で攪拌してください。
- 「ミキサー（スポット）」メニューの連続使用時間は約1分以内を目安として使用してください。
- 1分以上連続で「ミキサー（スポット）」メニューを使用すると、本体が熱を持ちますのでご注意ください。
- 本体が熱くなりましたら使用を止め、本体が冷めるまでお待ちください。
- カラ回しはお止めください。

# 真空<sup>®</sup>モード

## ■ 真空<sup>®</sup>ミキサー

使用可能内容量  
約300ml～約800ml

### ボトル内を真空<sup>®</sup>状態にしたあと、ミキサー運転をおこないます

#### 注意

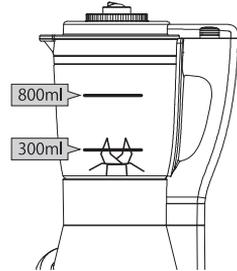
硬いもの、殻や種のあるものを粉碎するとブレードの刃を痛め、故障や破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

高温の内容物（湯気が上がっている状態のもの）が入っている場合には、故障の原因になります。常温のものを入れてください。

# 1

調理する食べ物や液体をボトルに入れてください。

- ※ふた、キャップをしっかり閉じてください。密閉されていないと、真空<sup>®</sup>状態になりません。
- ※ボトルが熱い場合には取り扱いにご注意ください。
- ※内容量についてはボトルに記載されている容量（最小約300ml、最大約800ml）を守って入れてください。
- ※大きな物は2cm角程度に切り刻んでから入れてください。
- ※硬いもの、殻や種のあるものは粉碎できません。
- ※粉碎することで熱を発生したり、変質するものがありますのでご注意ください。



# 2

ボトルを本体にセットしてください。

- ※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。
- ※内容物を本体にごほさないように注意してください。
- ※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

# 3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。

メニューボタンを8回押すと、【真空モード（真空ミキサー）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-08】と表示されます。

# 4



スタート/停止ボタンを押すと、調理がスタートします。

ボトル内が真空<sup>®</sup>状態まで減圧されると、ブザーが4回鳴ります。そのあと約1分間ミキサーが作動します。

- ※調理中には真空モードキャップを開けないでください。
- ※途中で停止させる場合にはスタート/停止ボタンを押してください。

# 5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

※油脂や調味料（糖類など）を調理後に加えるときは、電源を切ってからおこなってください。

ふたをボトルからはずすときは、図のように真空モードキャップのつまみを軽く持ち上げて空気を入れてください。

真空<sup>®</sup>状態のままではふたははずれません。

※ボトルに内容物を入れたまま保存しないでください。保存する場合は真空保存用カップが、または別の密閉容器等をご使用いただき、冷蔵庫で保存してください。



- 一度真空ミキサー/ミキサー調理をした食材を再度真空ミキサー調理しないでください。真空ポンプに食材や泡などを吸い込み、故障の原因になります。
- 乾燥したものを粉碎するときに、内部に水分が残っていると粉碎したものが固まってしまうことがあります。この固形物が本製品を破損させる可能性もありますのでご注意ください。
- 粉碎することで本製品にキズを付けたり張り付くような物は使用しないでください。
- 空回りする（動作音はするが、中身が攪拌されていない等）場合は、中身がブレードに触れずに動作している可能性があります。電源を切ってから、菜箸などで中身を攪拌したあとで再度動作させてください。
- ※必ず電源を切り、ブレードが回転していない状態で攪拌してください。
- 本体が熱くなりましたら使用を止め、本体が冷めるまでお待ちください。
- カラ回しはお止めください。

## ■ 下ごしらえ

使用可能容量  
約300ml～約800ml

ボトル内を真空<sup>※</sup>状態にして、食材に味をしみ込ませます。  
ブレードは回転しません。

## 注意

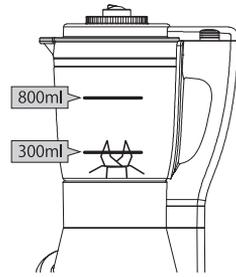
硬いもの、殻や種のあるものを粉碎するとブレードの刃を痛め、故障や破損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

高温の内容物（湯気が上がっている状態のもの）が入っている場合には、故障の原因になります。常温のものを入れてください。

1

調理する食べ物や液体をボトルに入れてください。

- ※ふた、キャップをしっかり閉じてください。  
密閉されていないと、真空<sup>※</sup>状態になりません。
- ※内容量についてはボトルに記載されている容量（最小約300ml、最大約800ml）を守って入れてください。
- ※大きな物は2cm角程度に切り刻んでから入れてください。
- ※硬いもの、殻や種のあるものは粉碎できません。
- ※粉碎することで熱を発生したり、変質するものがありますのでご注意ください。



2

ボトルとふたを本体にセットしてください。

- ※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。
- ※内容物を本体にこぼさないように注意してください。
- ※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

3

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを9回押すと、【真空モード（下ごしらえ）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-09】と表示されます。

4



スタート/停止ボタンを押すと、ボトル内が真空<sup>※</sup>状態まで減圧されます。

- ※調理中には真空モードキャップを開けないでください。
- ※途中で停止させる場合にはスタート/停止ボタンを押してください。

5

終了ブザーが鳴りましたら調理終了です。続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

- ※油脂や調味料（糖類など）を調理後に加えるときは、電源を切ってからおこなってください。

ふたをボトルからはずすときは、図のように真空モードキャップのつまみを軽く持ち上げて空気を入れてください。

真空<sup>※</sup>状態のままではふたははずれません。



- ・加熱をしたいときは、停止したあとに電源を切り、中身を混ぜてふたを（A）煮込み・スープ用ふたに取り替えてから加熱モードメニュー（P.14）をご使用ください。
- ・本体が熱くなりましたら使用を止め、本体が冷めるまでお待ちください。
- ・ボトルに内容物を入れたまま保存しないでください。保存する場合は真空保存カップか、または別の密閉容器等をご使用いただき、冷蔵庫で保存してください。

※真空とは・・・通常の大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間の状態

## ■ 真空<sup>※</sup>保存

食材を真空保存できる状態にします

### 注意

付属の真空保存用カップ、真空保存用袋を必ずご使用ください。

高温の内容物（湯気が上がっている状態のもの）が入っている場合には、故障の原因になります。常温のものを入れてください。

### ■ 真空保存用カップを使用する場合

1

真空保存用カップに食材を入れてください。

- ※真空保存用カップの最大容量の目安は約600mlです。
- ※ふた及び密閉用フラップはしっかりと閉め、密閉してください。
- ※ボトルには泡だったものや粉末、粉末を溶いた水分、粘度の高いものは入れないでください。真空状態になったときに本体に吸い込まれると、故障・破損のおそれがあります。
- ※高温の内容物（湯気が上がっている状態のもの）が入っていると故障の原因となります。常温のものを入れてください。

2

ボトルとふたを本体にセットしてください。

- ※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。
- ※内容物を本体にこぼさないように注意してください。
- ※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

3

真空保存用ホースのコネクターをモーター一部側に、吸引口を真空保存用カップにそれぞれしっかりと取り付けてください。  
※しっかりと取り付けられていないと真空<sup>※</sup>状態になりませんのでご注意ください。

4

操作パネルでメニューを選びます。

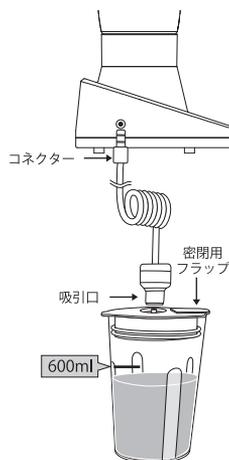
-  電源オン/オフボタンを押します。
-  メニューボタンを10回押すと、【真空モード（真空保存）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-10】と表示されます。

5

 スタート/停止ボタンを押します。カップ内が真空<sup>※</sup>状態で減圧されると終了ブザーが鳴り、自動的に停止します。

- ※減圧中には真空モードキャップを開けないでください。
- ※途中で停止させる場合にはスタート/停止ボタンを押してください。

続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。



真空保存用カップからふたを取り外すときは、密閉用フラップを持ち上げて空気を入れてください。



- ※保存する場合は冷蔵庫で立てて保存してください。
- ※殺菌作用はありませんので、保存には十分注意してください。
- ※真空保存後はなるべく早くお召し上がりください。

## ■真空保存用袋を使用する場合

1

真空保存用袋に食材を入れてください。

※袋の口はある程度空気を抜きながらしっかりと閉め、密閉してください。

※袋には泡だったものや粉末、粉末を溶いた水分、粘度の高いもの、大量の水分は入れないでください。真空<sup>®</sup>状態になったときに本体に吸い込まれると、故障・破損のおそれがあります。

※高温の内容物（湯気が上がっている状態のもの）が入っていると故障の原因になります。

※角ががったものは袋が破れるおそれがありますので入れないでください。

2

ボトルを本体にセットしてください。

※電源プラグをコンセントへしっかりと差しこんでください。

※内容物を本体にこぼさないように注意してください。

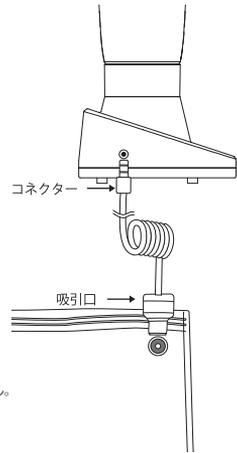
※ボトルと本体、ソケットやボトルセンサーなどをしっかりと合わせてセットしてください。

3

真空保存用ホースのコネクターをモーター部側面にしっかりと差し込んでください。

※コネクターがしっかりと取り付けられていないと真空<sup>®</sup>状態になりませんのでご注意ください。

※吸引口は袋の丸い穴に上から軽くあててください。押し付けすぎると吸引されません。



4

操作パネルでメニューを選びます。



電源オン/オフボタンを押します。



メニューボタンを10回押すと、【真空モード（真空保存）】のランプが点灯し、表示パネルに【P-10】と表示されます。

5

スタート/停止ボタンを押します。袋内が真空<sup>®</sup>状態まで減圧されると終了ブザーが鳴り、自動的に停止します。

※減圧中には真空モードキャップを開けないでください。

※途中で停止させる場合にはスタート/停止ボタンを押してください。

続けて使用しない場合は電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

※保存する場合は冷蔵庫で保存してください。

※冷凍庫での保存はおやめください。

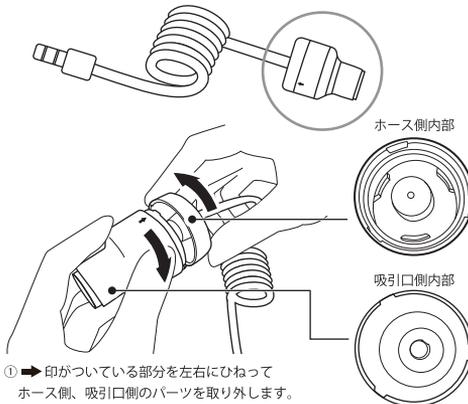
※殺菌作用はありませんので、保存には十分注意してください。

※真空保存後はなるべく早くお召上がりください。

※真空とは・・・通常の大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間の状態

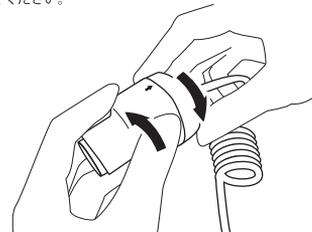
真空保存用ホースの吸引口はお手入れが必要です。

②パーツの内部に食材カスや水分があったら取り除いてください。



① ➡印がついている部分を左右にひねってホース側、吸引口側のパーツを取り外します。

③パーツの凹凸を合わせ、ホース側についたシリコンパッキンに吸引口側のパーツを押し付けながら①と逆方向にひねって取り付けてください。



# お手入れ

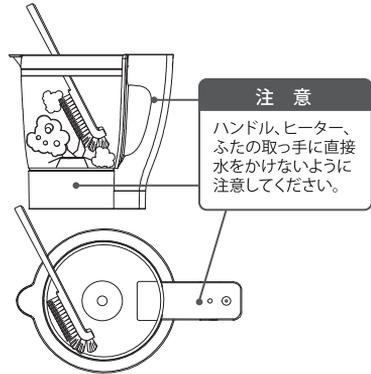
末永くお使いいただくために必ずお手入れを行ってください。  
お手入れの前には電源プラグを抜いて充分に冷めたことを確認してから行ってください。

## ブレード・底面のお手入れ

- 付属の「お手入れ用ブラシ」を使用して、隅々まで丁寧に洗浄してください。水またはお湯、食器用中性洗剤と併用すると汚れがきれいに落ちます。  
注意：ブレードの刃は鋭利なため危険です。絶対に素手では触らないでください。
- ※使用直後はとても熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- ※かならずモーター部からボトルを外してお手入れをおこなってください。
- ※ブレードは取り外すことができませんのでご注意ください。

## ふたのお手入れ

- 付属の「お手入れ用ブラシ」を使用して、隅々まで丁寧に洗浄してください。上ふたはふたから取り外して、食器用中性洗剤やスポンジで水洗いしてください。
- ・(B) 真空モード用ふたの内部には真空ポンプの吸い込み口があります。P.9を参照していただき、吸い込み口カバーを外して食材カスが詰まっていたらお手入れ用ブラシで取り除いてください。  
※吸い込み口が食材カスで詰まっていると、真空状態になりません。



**注意** 無理な力を加えないでください。変形や故障、破損、事故の原因になります。

## ボトルのお手入れ

- ① 調理後、ボトルにお湯を約800cc程度入れて汚れを漬け置き(数分間)します。
- ② ハンドルに直接水がかからないようにお湯を捨てます。
- ③ ボトル内に残った汚れは、ご家庭にある洗浄用スポンジ等でこすり落としてください。
- ④ ボトル外側は濡らした布などで汚れを拭き取ってください。
- ⑤ 汚れを水ですすいでください。

- ※ 金たわしなど本製品をキズつけるようなものは使用しないでください。
- ※ ブレードは取り外せません。
- ※ ブレードは鋭利ですので洗浄する場合は注意してください。
- ※ ハンドル部分に水が入るとセンサーが誤動作を起こして使用できなくなりますので注意してください。
- ※ もし水が入りましたらよく乾燥させてから使用してください。
- ※ 持ち手部分を濡らさないように注意してください。
- ※ 漏電防止穴は、回転体やソケットに内容物の液体が溢れた場合に液体に浸ってしまわないように底まで通っている穴です。塞がらないように清掃してください。
- ※ ソケット(ハンドル内のセンサーと本体を接続する部分)やカップセンサー部分に水分があるまま使用すると、故障や漏電等の原因になる場合がありますので注意してください。



使用しないでください

- × 金属たわし
- × クレンザー
- × 研磨スポンジ
- × メラミンスポンジ

## コゲ付き・汚れがひどいとき

水800mlに重曹を大さじ2杯入れて溶かしたものを、ボトル内に入れて「スーフモード(粗い)」を運転します。動作が終了したら重曹水を捨ててスポンジなどで軽くこすればコゲや汚れが落ちやすくなります。

※ ボトル内部の底面はテフロン加工されています。キズがつきますと、テフロン加工ははかれる原因となります。クレンザーなどの研磨剤や硬いスポンジなどは使用しないでください。

## モーター部のお手入れ

- ・ソケットやボトルセンサーを濡らさないように、濡らして固く絞った布などで軽く拭いてください。
- ※ 水洗いしたり、液状・霧状の洗剤などをかけたりしないでください。



**注意**

ボトルや本体を直接丸洗いしないでください。持ち手部分や通電部、ソケット、センサーなどに水がかかった状態で使用すると、故障や感電の原因になる恐れがあります。

食器洗い機・食器乾燥機は使用しないでください。

## 付属品のお手入れ

- 付属品各種は水洗いしてよく乾燥させてください。
- ※ 真空保存用ホース内部のお手入れはP.21をご覧ください。

## 保管について

長期間使用しない場合は、必ず上記のお手入れをして汚れを落とし、水分をよく拭き取ってからビニール袋などに入れ、お買い上げ時の箱に入れて保管してください。

ご注意：直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に保管や放置しないでください。

# 操作メニュー一覧

本製品で操作できる内容一覧です。

操作メニュー	動作内容	ページ
スープモード(なめらか)	①沸とうするまで加熱します。 ※加熱時間が30分を超えた場合は加熱異常でエラー表示 ②沸とう後、ミキサーが作動します。 ※ミキサーが始まる前にお知らせブザーが鳴ります。 ③5分間加熱します。 ④②～③をもう一度繰り返します。 ⑤最後にミキサーが作動し、ブザー音が鳴ったら終了です。	10
スープモード(粗い)	①沸とうするまで加熱します。 ※加熱時間が30分を超えた場合は加熱異常でエラー表示 ②沸とう後、ミキサーが作動します。 ※ミキサーが始まる前にお知らせブザーが鳴ります。 ③5分間加熱します。 ④②～③をもう一度繰り返します。 ⑤最後にミキサーが作動し、ブザー音が鳴ったら終了です。	11
加熱(ゆでる・蒸す)	①沸とうするまで加熱します。 ※加熱時間が30分を超えた場合は加熱異常でエラー表示 ②沸とう後、10分間加熱を続けます。 ③ブザー音が鳴ったら終了です。	12・13
加熱(煮込み)	①沸とうするまで加熱します。 ※加熱時間が30分を超えた場合は加熱異常でエラー表示 ②沸とう後、20分間加熱(設定温度80℃～85℃)を続けます。 ③ブザー音が鳴ったら終了です	14
加熱(再加熱)	①70℃になるまで加熱・搅拌します。 ※加熱時間が12分を超えた場合は加熱異常でエラー表示	15
ミキサー(連続)	①約1分間ミキサーが作動します。	16
ミキサー(スポット)	①スタート/停止ボタンを押している間だけミキサーが作動します。 ※ボタンを押し続けた場合、15秒でミキサーが停止します。	17
真空モード(真空ミキサー)	①真空 <sup>※1</sup> 状態になるまで減圧します。 ※減圧時間が50秒を超えた場合は②に移ります。 ②ブザー音が鳴ります。 ③ミキサーが約1分間作動します。	18
真空モード(下ごしらえ)	①真空状態になるまで減圧します。 ※減圧時間が50秒を超えた場合は②に移ります。 ②ブザー音が鳴ります。	19
真空モード(真空保存)	①真空状態になるまで減圧します。 ※減圧時間が90秒を超えた場合は②に移ります。 ②ブザー音が鳴ります。	20・21

※1 真空とは・・・通常の大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間の状態

## エラーについて

使用方法などを間違えたり誤ると、表示パネルに下記のようなエラー表示が出ることがあります。

エラー表示	エラー内容	処置・確認
E-01	ヒーター部分の温度センサーがショートしている	弊社お客様相談窓口へご連絡ください。
E-02	取り付けるふたが間違っている	モードに合わせたふたを取り付けてください。 ⇒ふたは正しく取り付けられていてエラーが表示される場合は、故障が考えられます。 弊社お客様相談窓口へご連絡ください。
E-04	加熱異常	電源をオフにし、電源プラグを抜いて本体が冷めるまでお待ちください。

## 故障かな？と思ったら

使用方法などを間違えたり誤ると、下記のような症状が起こり故障と思われることがあります。

弊社お客様相談窓口へご相談になる前に下記の表を確認してください。

症状	原因	処置・確認
運転しない	電源プラグがしっかりと差し込まれていない	電源をプラグをコンセントへ正しくしっかりと差し込んでください。
	フタが閉まっていない	フタをしっかりと閉じてください。
	ボトルと本体がしっかりと接続されていない	ボトル部のハンドルにある突起を、本体にあるセンサー穴へ差し込むように接続してください。ソケットもしっかりと接続してください。
ブザーが鳴る	フタの種類を間違っている	使用したいモードに合わせて正しく取り付けてください。
	動作が終了	動作が終了とブザーが鳴って電源がオフになります。
	どこかに異常がある	各センサーの状態や、ボトルセンサーやソケットの接続、ハンドル内に水分が無いかなどを確認して、異常を解消できるまで使用しないでください。
ふきこぼれた	冷たい水分（液体）を使っている	水分（液体）は常温のものを使用します。
	水分量が多すぎる 具材を入れすぎている	内容物は具材と水分を合わせて800ml以下にしてください。  野菜を加熱するときに出る水分によってふきこぼれる場合もあるのでご注意ください。

症状	原因	処置・確認
真空状態にならない	上ふた（真空モードキャップ）がはずれている	上ふた（真空モードキャップ）をしっかりと差し込んで密閉してください。 作動する際に、上ふたを押さえると安定します。
	フタが閉まっていない	フタをしっかりと閉じてください。
	ボトルと本体がしっかりと接続されていない	ボトルにある突起を、本体にあるセンサー穴へ差し込むように接続してください。 ソケットもしっかりと接続してください。
	真空保存用カップや真空保存用袋とコネクタがずれている	しっかりと接続して密閉してください。
	真空モード用ふた内部の吸い込み口に食材カスが詰まっている	吸い込み口カバーを外して、吸い込み口のお手入れをしてください。
音大きい	設置場所が平らでない	水平で安定した丈夫な場所に置いてください。
できあがりがおかしい	具材と水分などのバランスが悪い	レシピ通りの分量で調理してください。
焦げついた（コゲ）	正しく使っていても多少コゲは付きます	少量の具材がこびりついて焦げ付くことがありますが故障ではありません。
	牛乳（乳製品など）を入れて煮込んだ	牛乳など乳製品は、できるだけ加熱後に混ぜてください。
	具材が多すぎる 砂糖やハチミツなどの糖分が多い 油分が多い	糖類はできるだけ加熱後に混ぜてください。 バターや脂身の多い肉などはできるだけ加熱後に混ぜてください。

# 仕 様

定格電圧	AC100V 50/60Hz 共用
消費電力	ミキサーモード 300W / スープモード 450W
容量	ミキサーボトル 800ml / 真空保存カップ 600ml
電源コード長	約 1.5m
動作周囲温度	5 ～ 35℃
本体材質	ボトル：ガラス 本体：ABS、PC ブレード：ステンレス 真空保存用ホース：PU 真空保存用カップ：PC
本体サイズ	約（幅）209mm ×（奥行）235mm ×（高さ）371mm ※
本体重量	約 2.4kg
付属品	真空保存用カップ、真空保存用ホース、真空用保存袋 6枚 蒸し料理用バスケット、こし網、お手入れ用ブラシ レシピブック、カンタンマニュアル、取扱説明書（保証書付）

※ 本製品は日本国内専用です。

※ 仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

※ 本体サイズ / 重量は、本体にボトルとフタを取り付けたサイズ / 重量です。

※ 本製品の使用時間の目安は約30分以内です。約30分程度使用した場合は、約30分程度休ませてモーター等を冷ましてください。

## 修理・ご相談・お問い合わせ先

### 株式会社エスキュービズム通商

お客様相談窓口

☎ 03-4455-4123

受付時間

9:30 ～ 12:30

月～金 ※弊社営業日  
(土日祝除く)

13:30 ～ 17:00

お問い合わせの場合には

・製品名・製品型番・お買い上げ日・故障の状況（できるだけ具体的に）などを  
合わせてご連絡してください。

## 廃棄について

廃棄処分される場合には、お住まいの各自治体の定めた指示に従って処分してください。  
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。

## 保証書

保証期間中に万一、故障が発生した場合は、弊社お客様相談窓口へ保証書を添えてお問い合わせください。保証書は再発行をいたしませんので、紛失などのないよう大切に保管してください。保証書は保証規定に基づき、本製品に対して保証を行うことを目的としており、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書は日本国内でのみ有効です。

### 保証規定

- 保証対象
  - 保証期間内に取扱説明書および本体ラベル等に従った正常な使用で故障した場合に無償で交換、修理させていただきます。
  - 消耗品及び付属品は保証の対象外になります。
- 保証期間であっても以下の場合には保証の対象外になります。
  - 保証書に記入漏れのある場合
  - 使用上の誤り（取扱説明書に反した使用）による故障、損傷
  - お取り扱いの不注意（落下、衝撃、機器内部に水、異物などが流入など）、手入れの不備（かび、腐食、変色、ちり、ほこりなど）、長期使用での消耗による故障、損傷
  - 火災、地震、水害、落雷などの天災や天変地異、ガス害や塩害などの公害や異常電圧などによる故障、損傷
  - 分解、改造、弊社以外での修理による故障、損傷
  - 一般家庭用途以外での用途（業務用の過度な連続使用など）、環境（温度、湿度、振動など）による故障、損傷
  - 自然摩耗及び自然劣化により消耗部品が損耗し取り替えが必要な場合
  - その他、保証が認められない事由が発覚した場合

### 免責事項

- 弊社が関与しない修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、ご送付の際の送料や諸経費はお客様のご負担となります。
  - 本製品の故障に起因する損失や直接、間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

お買い上げ年月日		保証期間
年 月 日		お買い上げから 1年間
品番	WM-001	
お名前	フリガナ	
ご住所	フリガナ 〒 TEL (      )      —	
お買い上げ店		

# Scubism

株式会社エスキュービズム通商

[本社] 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 4F  
[商品管理部] 〒330-0846 埼玉県さいたま市大宮区大門町 3-169-2 ダヴィンチ大宮 3F

お客様相談窓口

☎ 03-4455-4123

受付時間  
月～金 ※弊社営業日  
(土日祝除く)

9:30 ～ 12:30  
13:30 ～ 17:00